

令和6年度第2回榛東村子ども・子育て会議 会議摘録

○日 時 令和7年2月10日（月）13：58～15：15

○場 所 役場2階 202 会議室

○出席者

【委員（名簿順）】12名

足達哲也委員、岩崎早苗委員、小川みや子委員、飯塚久世委員、飯塚匡委員、
小渕恵美子委員、高山弘毅委員、福島依里委員、松本昭彦委員、狩野等委員、
小池香織委員、湯澤知佐子委員

【事務局】3名

○概 要

1. 開会

2. 挨拶

3. 議事

(1) 第3期榛東村子ども・子育て支援事業計画素案に対する御意見について

- ・事務局より、資料「ご意見と計画への反映状況」及び資料「榛東村第3期子ども・子育て支援事業計画（案）」を用いて、委員から集まった意見と計画への反映状況を説明
- ・教育委員会学校教育課より、委員から意見のあった“部活動の地域への移管”について、計画内容への反映方法等の考え方について補足説明

（事務局）

“部活動の地域への移管”について、計画内容への記述をどのように考えるか、
学校教育課と検討したいと考えている。

（会長）

委員からの意見に対する計画内容の修正結果について、何か意見等はあるか。

（委員全員）

意見は特になし。了承。

(2) 榛東村児童館の在り方について

- ・事務局より、資料「榛東村児童館の在り方検討結果報告書」を説明

児童館の今後の在り方について、下記の3案を示した。

A案 現状の施設を修繕しながら使用を続ける。

B案 現在の施設を大規模改修又は現在位置にて更新を行う。

C案 児童館機能を防災中枢機能施設（仮称）に移転し、現在の施設は廃止する。

(事務局)

村長に提出する報告書はこのような内容でよいのか、子ども・子育て会議としての意見はどうか、という観点からご意見をいただきたい。

(委員)

現施設のデメリットが克服されるのであれば、C案がよいと思う。但し、具体的にどのような機能が防災中枢機能施設(仮称)に設けられるのかがポイントではないか。

また、児童館機能という点では、そこで子育て支援がどこまで受け止められるのか、例えば相談することができたり、親子で1日遊べる場所となる必要があるのではないか。

(事務局)

子どもが自由に遊べるフラットな部屋(仮称:みんなのこども部屋)を想定しているが、スタッフを配置するかどうかも含め、現時点ではまだ詳細が決まっていない。

(委員)

図書館に対するニーズがあると思う。防災中枢施設にはそのような機能はあるのか。

(委員)

現状では防災中枢施設に図書館のような機能は想定されていない。

(委員)

確かに村内にも多様な子育て支援サービスが整備されてきたが、児童館のような機能があれば、それで満たされるケースもあるのではないかと。

(会長)

児童館をそのまま移転することは無理であり、機能の一部を防災中枢機能施設(仮称)に設けるということではないか。

(委員)

親子で長時間過ごせる場所であることが大事ではないかと思う。

(委員)

整備予定の防災中枢施設は、児童館の代替のようなものではないと思う。子どもが集まれる場として、プレイルームがあるということではないか。

(委員)

機能を考えるにあたっては、子どもの対象年齢をどう考えるかも重要ではないか。施設のコンセプトとは何なのか。

(事務局)

どこかの部屋に限定するのではなく、施設全体としての使い方を考える部分もあるかと思う。

(委員)

柔軟な使い方ができるということは大事なことだと思う。

(3) その他

(事務局)

特になし。

4. 閉会

(事務局)

次回の会議は、パブリックコメント終了後、3月の第2週頃を予定している。